

特 集

～新成長戦略にチャレンジ、未来を拓く市工研の業界支援・企業支援～ 「大阪市立工業研究所との産官技術交流会」

主催 / 大阪商工会議所、(地独)大阪市立工業研究所、(社)生産技術振興協会
後援 / 近畿経済産業局、大阪市 協力 / リソナ銀行 協賛 / 商工中金、大阪市信用金庫

開会挨拶

大阪商工会議所中堅中小企業委員会 委員長
更家 悠介 氏



いま大阪の中堅・中小企業は危機感を抱いております。世の中の変化が非常に速い中で、円高問題、さらには数日前からのチャイナショックなどもあって、中国との仕事が順調に行くのかといった不安感もあります。昨日は白川日銀総裁が来阪し、私共と親しく話す機会があり、企業側としては円高問題への対応についてお願いしました。

急激な円高は非常に困るわけで、その中で中堅・中小企業はどうしてよいのか分かっていない状況にあります。韓国企業のサムソンやLGなどの追い上げで、日本の大企業も厳しい状況にあります。また中国企業も力を付け、部材、部品などは非常に安価で、ある程度の品質・性能を備えたものが出てきています。

こうした中で、ものづくりに携る大阪の中堅・中小企業はどうしたらよいのかと考えてみると、やはり大学もしくは工業研究所のような所が持つ基礎技術を中堅・中小企業に技術移転し、それらを高めながら国内のおよび国際的ビジネスを実施していくことが大事なことであり、ビジネス展開の近道である

と思います。

本日の産官技術交流会は、大阪商工会議所、大阪市立工業研究所、生産技術振興協会が主催し、近畿経済産業局、大阪市、リソナ銀行に後援していただくとともに、商工中金、大阪市信用金庫に協賛をいただき、開催することになりました。ファイナンス、技術、中堅・中小企業のやる気の3つが合体すれば、必ずや大阪の復興・再生が可能だと思っております。本日のような機会を何度も設けることで、中堅・中小企業の技術レベル、特にものをつくるという生産技術レベルが向上していけますように、皆様のご支援をお願い申し上げます。

開会挨拶

(地独)大阪市立工業研究所 理事長
喜多 泰夫 氏



本日は大阪商工会議所の更家委員長をはじめ関係者の方々に、工業研究所の紹介の機会を設けていただき、本当にありがとうございます。ご来場の皆様には日頃より工業研究所をご理解、ご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

大阪市立工業研究所は大正5年、当時の助役で後の大阪市長であります關 淳一氏が、アメリカの力

ーネギーメロン研究所を手本に設立した公設の研究機関です。来年で設立から95年を迎えますが、長きにわたり一貫して、企業のニーズに即したものづくりの技術的な諸問題について解決に取り組むとともに、研究所の保有する高いポテンシャルを活かし、大阪経済を支える多くの中小企業の技術支援機関として、その役割を今日まで果たしてきました。

本日は近畿経済産業局の国吉部長様の基調講演に引き続きまして、私共の研究所の4名の研究員が研究成果の一端をご紹介します。また、講演終了後には交流会が催されることになっております。ご参加の皆様方には、これを機会に大阪市立工業研究所と親交を深めていただき、さらにはご利用、ご活用いただければ幸いと存じます。

本日の産官交流会が私共にとりましても、皆様にとりましても、益多いことを祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。



(社)生産技術振興協会 理事長 野村 正勝 氏

